

HRC テストライダー長島哲太選手が MotoGP 日本 GP にワイルドカード参戦

株式会社ホンダ・レーシング（以下、HRC）は、2022 FIM[※]世界耐久選手権“コカ・コーラ”鈴鹿 8 時間耐久ロードレース 第 43 回大会（以下、鈴鹿 8 耐）の優勝ライダーの一人で、HRC のテストライダーを務める長島哲太選手が、2022 年 9 月 25 日（日）にモビリティリゾートもてぎ（栃木県）で決勝がおこなわれる「2022 FIM MotoGP 世界選手権シリーズ 第 16 戦 MOTUL 日本グランプリ」の MotoGP クラスに「Team HRC」よりワイルドカード参戦することを発表しました。

※ FIM とは、Fédération Internationale de Motocyclisme（国際モーターサイクリズム連盟）の略称



長島哲太選手



鈴鹿 8 耐で優勝した長島哲太選手の走り

長島哲太選手は、神奈川県出身の 30 歳。2008 年に 15 歳で全日本選手権にデビューし 1 年目で国内シリーズチャンピオンを獲得すると、その後も全日本選手権で活躍しました。2013 年には FIM ロードレース世界選手権 Moto2 クラス（以下、Moto2）にワイルドカード参戦し 20 位を獲得しています。翌 2014 年には Moto2 にフル参戦したもののイギリス GP のフリー走行中の怪我により以降のレースには欠場。2015 年には活躍の舞台を、「FIM CEV レプソル Moto2 欧州選手権」に移しましたが、2017 年からは再び Moto2 にフル参戦を果たし、2020 年のカタール GP では Moto2 初優勝を飾っています。

2021 年からは HRC のテストライダーを務めており、2022 年の鈴鹿 8 耐では、高橋巧選手とイケル・レクオナ選手とともに参戦しました。計時予選となったトップ 10 トライアルで、鈴鹿 8 耐のコースレコードを更新する 2 分 4 秒 934 でポールポジションを獲得しました。決勝レースでは、2 分 6 秒 934 のファステストラップを記録するとともに、Honda を 2014 年以来 8 年ぶり通算 28 回目の優勝に導きました。

■ Team HRC 長島哲太選手

「子供の頃からの夢であった最高峰の MotoGP クラスへ参戦することになりました。ワイルドカードで 1 戦だけですが、自分の実力を発揮して、チャンスくれた HRC には結果で応えたいです。鈴鹿 8 耐ではテストからレースウィークを通して、思い通りの展開となり優勝することができたので、この良い流れを日本 GP に繋げていきます。今年、HRC のテストライダーとして開発テストをする中で、ライダーとしてのスキルも向上したと感じているので、今の長島哲太の走りを皆さんに見ていただきたいです。精一杯頑張りますので、サーキットに来れる人も TV 観戦の人も、ぜひ応援お願いします」